

はじめに

本年は、明治維新から151年となる。

建国記念の日にあたり、事任八幡宮に伝わる諸資料を中心に、いかに明治国家が建設され、いかに近代日本が誕生していったのか、を考える機会としたい。

1 国学の隆盛と皇国思想の広がり

①国学の起こり

元禄ころ、僧契仲に始まる古典籍の研究

②朝廷の動き

尊王公家の活躍と処分、宝暦8年(1758)竹内式部追放・流刑、明和4年(1767)山形大弐死刑

③四大人の活躍

荷田春満、賀茂真淵、本居宣長、平田篤胤の4人

文政元年(1818)賀茂大人霊祭式斎行、天保5年(1834)縣居霊社修造など

④神主たちの学び

国学者の著書研究(国学書の書写、演説筆記、入門等)、文政11年(1828)秀茂、篤胤を江戸に訪問

⑤平田篤胤・鉄胤の学問

古典籍の研究から独自の世界観、次第に政治色を強め、明治維新の精神的支柱に

2 遠州報国隊と招魂社

①幕末の動乱

幕府の衰退、開国と交易、斉明天皇の攘夷論と攘夷実行、蛤御門の変、薩英戦争など

②平田鉄胤の門人たち

諸国に平田篤胤没後門人、磐田見付の大久保氏の活躍、慶応2年(1866)秀直、篤胤没後門人

③報国隊の結成

浜松と磐田を拠点、赤心隊の結成

④戊辰戦争への従軍

慶応4年(1868)鳥羽伏見の戦い、大総督宮護衛江戸進軍と警備、市川口の戦いなど

⑤暗殺事件と東京移住

東北の平定後帰国、駿河・遠江は徳川氏の封地に、赤心隊士の暗殺、移住論と反移住論

⑥招魂社の設立

戊辰戦争戦没者を祀る、現在の靖国神社に

3 近代国家の建設

①版籍奉還

明治2年(1869)全国の土地・人民を国家に移す

②廃藩置県

明治4年(1871)藩を廃して、天皇を頂点に仰ぐ中央集権国家の体制へ、寺社領没収と配当禄支給

③欧米視察

明治4年(1871)視察団を派遣して欧米の制度・技術・文化を導入、欧米に倣って

④学校制度

明治5年(1872)学制を頒布して学校を設立、教育の義務化

⑤国家の紀元

明治6年(1873)太陽暦、神武天皇即位日・天長節を祝日に制定、神武天皇即位日を紀元節に

昭和15年(1940)紀元2600年奉祝展開催

昭和42年(1967)2月11日、初の建国記念の日となる。明治維新100年にあたる

⑥地租改正の実施

明治6年(1873)地租改正条例を制定・交付、租税の義務化

⑦徴兵令施行

明治6年(1873)兵役の義務化

⑧国会と内閣制度の導入

明治14年(1881)の国会開設の詔、政党設立、憲法調査、

明治18年(1885)内閣制度の導入

明治22年(1889)大日本帝国憲法の制定

4 国家の宗祀と国民教化策

①慶応3年(1867)王政復古の大号令、翌年五か条の御誓文、神仏判然令

②大教宣布の運動

明治3年(1870)大教宣布の詔勅

大教院・中教院・小教院の設立、神・儒・仏3者の教導

③国家の宗祀

明治4年(1871)国家宗祀の布告

明治5年(1872)神祇官を廃して教部省設置、教導職による国民教化、三条の教則

官社(官国幣社)・諸社(府藩県社・郷社)など

浜松県社八幡神社の誕生

5 学校教育と神道

①教育勅語

明治23年(1890)「教育ニ関スル勅語」の発布

②第4回社頭学校の開催

大正10年(1921)日坂小学校・日坂少年団と八幡宮合同実施、敬神崇祖の念涵養と身体修養鍛錬、学科復習

③筆子塚の建設

大正10年(1921)「譽田健雄先生之碑」建設

おわりに

約150年の歴史のなかで、現代日本の基礎がいかに造られていったか、大まかな流れを御理解いただけたか、と考える。

先行き不安な情勢のなか、我々はいかに生きていくのか、今後の在り方を考える一助となれば、と願う。